

開講学科	システム生体工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	ゼミナールII	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		3年次	必修	16103501	
担当教員	学科全教員	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	後期		
授業の教育目的・目標	システム生体工学の技術者として、必要な調査能力や文書作成能力を身に付けるために各教員の専門分野にとどまらず、学科全教員のチェックを受けることによりシステム生体工学全域で通用する技術文書作成テクニックを学ぶ。				
学科の学習・教育目標との関係	研究室配属や社会へ出る前に多角的な視点を養う。				
キーワード	要素技術、最新トピックス				
授業の概要	グループに分かれ担当教員の下で技術論文・学術論文を精読し、A4用紙2ページにまとめ担当教員がチェック・修正する。担当教員から許可が得られ次第提出する。冊子にまとめて全教員がチェックする。各研究室の専門性に合わせた技術文書を作成させ、担当教員のチェックを済ませた文書について冊子にまとめ、学科全教員が評価する。毎回、配属研究室で指導に当たる。				
授業の計画	第1回： ガイダンス 第2回： 論文1精読その1 第3回： 論文1精読その2 第4回： 論文1精読その3 第5回： 論文1精読その4 第6回： 論文1の報告書作成・修正1 第7回： 論文1の報告書作成・修正2 第8回： 論文2精読その1 第9回： 論文2精読その2 第10回： 論文3精読その3 第11回： 論文4精読その4 第12回： 論文2の報告書作成・修正1 第13回： 論文2の報告書作成・修正2 第14回： 全教員のチェックを受ける1 第15回： 全教員のチェックを受ける2				
受講条件・関連科目	ゼミナールI				
授業方法	第2回から第13回までは全教員が担当学生と論文を精読し、第14回と第15回は全教員が担当以外の学生の報告書をレビューし、成績評価の観点に従って採点する。				
テキスト・参考書	理科系の作文技術（中公新書）				
成績評価	調査した技術についての位置づけ、論理の展開、専門用語の使い方などについて全教員が総合的に評価する。				
履修上の注意					